
奈良県みんなでのしむ大芸術祭実行委員会 第5回総会 議事録（要旨）

- 1 日 時 : 令和6年2月16日（金）15時00分～16時00分
- 2 場 所 : 修徳ビル 地下1階会議室
- 3 出席者 : 実行委員会委員12名
- 4 議 事 :
 - 第1号議案 奈良県みんなでのしむ大芸術祭 令和5年度実施結果及び令和6年度実施方針（案）
 - 第2号議案 奈良県みんなでのしむ大芸術祭令和6年度収支予算（案）

資料に基づき、事務局より、第1号議案及び第2号議案について説明を行った。その後、第1号議案及び第2号議案について採決を行い、全員一致で承認された。

なお、令和5年度実施結果及び令和6年度実施方針（案）について各委員から以下のとおり意見があった。

▼イベント

- ・障害者芸術推進会議の委員から、「まほろば あいのわ コンサート」の評価がとても高かった。現地に鑑賞に行けない人に向けたYouTube配信も大変助かった。

- ・イオンモールで開催された「県民きらめきステージ」では、舞台にスロープを設置するなど、前年度開催の意見を反映し改善していただいた。しかし、舞台が狭く感じたので、車椅子利用人数も考慮したステージの大きさを検討してもらいたい。
→（事務局）イオンモールという場所を借りての開催のため、様々な制約がある部分もあるが、できるだけ大きなステージで発表いただけるよう、他の開催場所も含め検討しているところ。

- ・馬見丘陵公園での開催について、車椅子の方や体が不自由な方が、1人でも足を運べるよう、運営面で配慮をお願いしたい。天候にも左右されやすい屋外は、障がいを持った人にとって参加しづらい面があるので、イベント開催場所についても利用しやすさを考えて検討してほしい。
→（事務局）会場の空き状況なども鑑み、様々な人がアクセスのしやすい場所を検討したい。屋外での開催についてもいただいたご意見は承知している。大きな音や大人数

の団体が発表する機会を創出したいという思いもある。駐車場の場所等、運営面で工夫をしていきたい。

- ・ビッグ幡について、応募されたすべての作品を Web 上で楽しむことができる「どこでもビッグ幡」はとてもよかった。このような参加の仕方があることで応募者のモチベーションにもなるし、「奈良県みんなでたのしむ大芸術祭」の力になっていると感じる。今後も継続してほしい。

▼広報

- ・るるぶ特別編集「みんな芸」ガイドブックを見ていると、障がいのある人も参加しているという側面が分かりづらいと感じる。「障がいのある人もない人も」という軸を、ガイドブックの中でもよりアピールしていくと良いのではないかと。
- （事務局）今年度の表紙でもご意見の趣旨に沿った工夫をしたが、来年度は、障がいのある人の作品を展示する「プライベート美術館」などの取組を特集するページなどの企画も考えている。
- ・ガイドブック制作においては、ユニバーサルフォントや、視覚障がいを持つ人でも見やすい色合いを使用したりするのも一つの方法である。
- みんな芸のイベントを通して日常のバリアに気が付くきっかけとなり、障がいのある人への理解が進む機会となれたら良いと思う。
- （事務局）ご意見の趣旨を踏まえ、ガイドブック制作においても、配慮についての工夫を検討していきたい。

▼その他

- ・国庫補助の廃止に伴い、R6 年度は実施しない 4 つの事業（みんな芸フェスティバル、みんな芸ピアノ、ドライブインシアター、国際音楽交歓コンサート）について、R5 年度の予算のうちどのくらいを占めるのか。また、実施しないことによって、来場者数はどのくらい減ることを見込んでいるのか。
- （事務局）R5 年度当初予算では 4 イベント合わせて 1,900 万円を占める。また、来場者数は 8,500 人程度の減少が見込まれる。

以上